



平成17年3月期

第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年2月3日

上場会社名 株式会社 七十七銀行

上場取引所: 東・札

コード番号 8341

本社所在都道府県 宮城県

(URL <http://www.77bank.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役頭取 氏名 丸森 仲吾

問合せ先責任者 役職名 総合企画部長 氏名 西城 正志

TEL (022) 267-1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

「四半期財務情報の作成のための基本となる事項」(資料5頁)に記載しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

平成17年3月期第1四半期より四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	84,797	(—)	20,806	(—)	10,674	(—)
16年3月期第3四半期	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)16年3月期	113,468		18,228		12,339	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	2808	—
16年3月期第3四半期	—	—
(参考)16年3月期	3232	—

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	5,464,872	332,309	6.1	87421
16年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年3月期	5,404,205	323,994	6.0	85294

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

平成16年11月25日に公表した平成17年3月期通期の業績見通しは、変更ありません。

比較四半期連結貸借対照表(要約)

株式会社 七十七銀行

(単位:百万円)

科 目	当四半期末(A) (平成17年3月期 第3四半期末)	前四半期末(B) (平成16年3月期 第3四半期末)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末
(資産の部)				
現金預け金	98,911			168,578
コールローン 及び買入手形	71,990			130,128
買入金銭債権	154,340			123,949
商品有価証券	5,366			8,669
金銭の信託	39,787			36,575
有価証券	1,886,344			1,718,659
貸出金	3,114,989			3,116,779
外国為替	644			747
その他資産	57,686			62,652
動産不動産	51,205			53,965
繰延税金資産	12,410			13,672
支払承諾見返	45,901			44,970
貸倒引当金	74,706			75,143
資産の部合計	5,464,872			5,404,205
(負債の部)				
預金	4,729,554			4,746,969
譲渡性預金	244,230			189,600
コールマネー 及び売束手形	10,748			13,304
債券貸借取引受入担保金	11,416			
借入金	16,122			15,704
外国為替	97			133
その他負債	31,849			28,938
退職給付引当金	35,547			34,095
支払承諾	45,901			44,970
負債の部合計	5,125,468			5,073,715
(少数株主持分)				
少数株主持分	7,094			6,495
(資本の部)				
資本金	24,658			24,658
資本剰余金	7,838			7,836
利益剰余金	245,291			236,934
その他有価証券評価差額金	56,007			55,996
自己株式	1,486			1,430
資本の部合計	332,309			323,994
負債、少数株主持分 及び資本の部合計	5,464,872			5,404,205

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成16年3月期第3四半期末の計数は、四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため記載しておりません。

比較四半期連結損益計算書（要約）

株式会社 七十七銀行

（単位：百万円）

科 目	当四半期(A) (平成17年3月期 第3四半期)	前四半期(B) (平成16年3月期 第3四半期)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期
経 常 収 益	84,797			113,468
資 金 運 用 収 益	58,872			78,853
(うち貸出金利息)	(41,948)			(58,084)
(うち有価証券利息配当金)	(16,104)			(19,910)
役 務 取 引 等 収 益	11,576			15,365
そ の 他 業 務 収 益	12,946			16,874
そ の 他 経 常 収 益	1,401			2,375
経 常 費 用	63,990			95,240
資 金 調 達 費 用	2,019			3,055
(うち預金利息)	(1,044)			(1,735)
役 務 取 引 等 費 用	2,968			3,721
そ の 他 業 務 費 用	11,636			14,438
営 業 経 費	44,257			61,366
そ の 他 経 常 費 用	3,107			12,658
経 常 利 益	20,806			18,228
特 別 利 益	110			6,831
特 別 損 失	1,727			415
税金等調整前四半期(当期)純利益	19,188			24,643
法人税、住民税及び事業税	7,886			914
法 人 税 等 調 整 額				10,574
少 数 株 主 利 益	627			815
四半期(当期)純利益	10,674			12,339

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当四半期の法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

3. 平成16年3月期第3四半期の計数は、四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため記載して
おりません。

比較四半期連結剰余金計算書

株式会社 七十七銀行

(単位: 百万円)

科 目	当四半期(A) (平成17年3月期 第3四半期)	前四半期(B) (平成16年3月期 第3四半期)	比 較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期
(資 本 剰 余 金 の 部)				
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	7,836			7,835
資 本 剰 余 金 増 加 高	1			1
自 己 株 式 処 分 差 益	1			1
資 本 剰 余 金 減 少 高	—			—
資 本 剰 余 金 四 半 期 末 (期 末) 残 高	7,838			7,836
(利 益 剰 余 金 の 部)				
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	236,934			226,913
利 益 剰 余 金 増 加 高	10,674			12,339
四 半 期 (当 期) 純 利 益	10,674			12,339
利 益 剰 余 金 減 少 高	2,317			2,319
配 当 金	2,278			2,282
役 員 賞 与	38			36
利 益 剰 余 金 四 半 期 末 (期 末) 残 高	245,291			236,934

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成16年3月期第3四半期の計数は、四半期財務・業績の概況の開示を行っていないため記載しておりません。

四半期財務情報の作成のための基本となる事項

株式会社 七十七銀行

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり一部「簡便な手続き」を採用して四半期財務・業績の概況を作成しております。なお、四半期財務・業績に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

〔「簡便な手続き」の内容〕

1．貸倒引当金の計上基準

当四半期末の貸倒引当金は、平成16年12月末の自己査定結果に基づく対象債権残高に対し、平成16年9月期において適用した引当率に基づき計上しております。

2．法人税等の計上基準

原則として、税引前純利益に重要な税務調整を加えた後の課税所得を基に未払法人税等を算出しておりますが、一部の連結子会社については、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により算出しております。このため、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

平成16年度第3四半期財務・業績の概況について【単体ベース】

1. 収益状況

平成16年度第3四半期の一般貸倒引当金繰入前業務純益は217億66百万円となり、通期業績予想272億円に対しほぼ計画どおりに推移しております。

また、当四半期の経常利益は195億45百万円、四半期純利益は105億81百万円と、ともに順調に推移しており、11月25日に公表した通期業績予想の修正はありません。

(単位:百万円)

	16年度 第3四半期 (9ヵ月間)	16年度 業績予想 (12ヵ月間)	15年度 実績 (12ヵ月間)
業 務 粗 利 益	63,370		85,165
資 金 利 益	55,911		75,078
役 務 取 引 等 利 益	7,857		10,264
そ の 他 業 務 利 益	397		176
うち国債等債券損益	126		5
経 費	41,603		57,305
うち人 件 費	20,754		29,030
うち物 件 費	18,167		25,181
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	21,766	27,200	27,860
一般貸倒引当金繰入額	8,623		6,018
業 務 純 益	30,390	36,000	33,879
臨 時 損 益	10,835		17,441
うち株式等関係損益	57		165
うち不良債権処理損失()	10,386		17,184
経 常 利 益	19,545	20,000	16,423
特 別 損 益	1,629		6,510
うち所有不動産償却額()	1,395		—
法人税、住民税等(調整額含)	7,334		10,801
四 半 期 (当 期) 純 利 益	10,581	11,000	12,132

(注) 16年度通期の業績予想は、平成16年11月25日に公表したものであります。

2. 主要勘定の状況（末残ベース）

(1) 預金（譲渡性預金を含む）

預金と譲渡性預金の合計額は、個人預金の増加を主因に16年9月末比 429億円増加しました。
宮城県内においては、16年9月末比 561億円増加し、県内シェアは53.1%となりました。

(単位: 億円、%)

	16年12月末			16年9月末	15年12月末
	16年9月末比	15年12月末比			
預金 + 譲渡性預金合計	49,788	429	1,006	49,359	48,782
うち個人預金	34,041	902	855	33,139	33,186
うち法人その他	15,747	473	151	16,220	15,596

(うち宮城県内)

預金 + 譲渡性預金合計	46,064	561	1,004	45,503	45,060
うち個人預金	32,043	873	826	31,170	31,217
うち法人その他	14,021	312	178	14,333	13,843
宮城県内預金シェア	53.1	0.2	0.3	52.9	52.8

(注) 宮城県内預金シェア（譲渡性預金は含まない）は、郵貯を除く。

(参考) 預り資産の状況

(単位: 億円)

	16年12月末			16年9月末	15年12月末
	16年9月末比	15年12月末比			
個人預り資産残高	1,583	214	634	1,369	949
投資信託	138	30	74	108	64
公共債	1,203	135	423	1,068	780
個人年金保険	138	32	108	106	30
外貨預金	104	17	29	87	75

(2) 貸出金

貸出金は、中小企業向け貸出の推進及び住宅ローンの堅調な増加等により、16年9月末比 372億円の増加となりました。

宮城県内においては、16年9月末比 257億円増加し、県内シェアは43.5%となりました。

(単位: 億円、%)

	16年12月末			16年9月末	15年12月末
	16年9月末比	15年12月末比			
貸出金	31,334	372	647	30,962	30,687
(コア貸出金)	(29,772)	(518)	(280)	(29,254)	(29,492)
うち中小企業等向け貸出	19,706	215	84	19,491	19,790
中小企業向け	12,637	212	230	12,425	12,867
個人向け	7,069	3	146	7,066	6,923
うち住宅ローン	5,962	64	241	5,898	5,721
中小企業等貸出比率	62.9	0.1	1.6	63.0	64.5

(うち宮城県内)

貸出金	23,986	257	128	23,729	24,114
うち中小企業等向け貸出	17,530	72	167	17,458	17,697
中小企業向け	10,743	69	318	10,674	11,061
個人向け	6,787	3	151	6,784	6,636
うち住宅ローン	5,763	61	233	5,702	5,530
中小企業等貸出比率	73.1	0.5	0.3	73.6	73.4
宮城県内貸出金シェア	43.5	0.1	0.2	43.4	43.3

(注) コア貸出金は、預金保険機構、財務省向け貸出金及びローンパーティシペーションを除いた貸出金。

3. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

16年12月末の要管理債権以下の合計残高は、16年9月末比 132億円減少し、1,830億円となりました。

不良債権（要管理債権以下）比率も、16年9月末比0.49ポイント低下し、5.73%となっております。

(単位:億円)

	16年12月末	16年9月末	
		16年9月末比	16年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	707	44	663
危険債権	615	27	588
要管理債権	508	203	711
小計(A)	1,830	132	1,962
正常債権	30,078	540	29,538
合計(B)	31,908	408	31,500
不良債権比率(A)/(B)	5.73%	0.49%	6.22%

(参考) 部分直接償却を実施した場合

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は4.67%となります。

(単位:億円)

	16年12月末	16年9月末	
		16年9月末比	16年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	353	3	350
危険債権	615	27	588
要管理債権	508	203	711
小計(A)	1,476	173	1,649
正常債権	30,078	540	29,538
合計(B)	31,554	367	31,187
部分直接償却額	354	41	313
不良債権比率(A)/(B)	4.67%	0.61%	5.28%

4. 自己資本比率

17年3月末の自己資本比率は、内部留保の積上げによる自己資本額の増加等から単体・連結とも16年9月末比 0.2ポイント程度の上昇を見込んでおります。

(単位:%)

	17年3月末予想	16年9月末実績
単体自己資本比率[国内基準]	11.1程度	10.90
(基本的項目比率)	(10.5程度)	(10.27)
連結自己資本比率[国内基準]	11.3程度	11.07
(基本的項目比率)	(10.7程度)	(10.45)

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位：億円)

	16年12月末				16年9月末			
	時 価	評価差額			時 価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	19,334	887	912	25	19,200	814	850	36
株 式	1,270	655	657	2	1,203	596	597	1
債 券	15,626	215	229	14	14,987	205	224	19
その他	2,438	17	26	9	3,010	13	29	16

(注) 1. 有価証券のほか、コマーシャル・ペーパーも含めております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

6. デリバティブ取引

(1) 金利関連取引

(単位：億円)

	種 類	16年12月末			16年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
取引所	_____	-	-	-	-	-	-
店 頭	_____	-	-	-	-	-	-
合 計				-			-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

	種 類	16年12月末			16年9月末		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
取引所	_____	-	-	-	-	-	-
店 頭	為替予約	531	11	11	717	9	9
	通貨オプション	-	-	-	2	-	0
合 計				11			9

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

なお、株式関連取引、債券関連取引、商品関連取引及びクレジットデリバティブ取引については、該当ありません。